

途上人 KITANO 令和4年度例会

～奥能登の農業法人「粟蔵水稻(株)」を訪ねて～

26期 小河原京子 梅谷 武

途上人 KITANO の3年ぶりの例会が令和4年7月25日(月)～26日(火)に開催されました。企画段階では新型コロナ第6波が収まりかけていました。実行の7月は第7波の真っ只中でしたが、行動制限は出ていませんでした。ワクチンやマスク等、最善の対策をとって9名(現地参加1名含む)の仲間達と奥能登の農業生産法人「^{あわくら}粟蔵水稻(株)」(代表取締役社長:宇羅恒雄、26期)を見学させて頂きました。

宇羅さんは高齢化が進む過疎地域で農地を守り、地域と社会に貢献されています。“能登はやさしや土までも”会社案内のホームページや小冊子には、海にいないはずのカモメが田圃に沢山いる写真があり、環境にやさしい農業を見て取れます。

都会にいるよりも良い環境でゆったりと時間が流れ、宇羅様を始め出会った皆様はとてもお元気そうでした。旅先で出会った皆様にご参加頂いた皆様に心よりの感謝を申し上げます。有難うございました。

【1日目の立ち寄り先】

道の駅(高松里海館)、昼食(食房楽、多根さ)、宗玄酒造(株)、^{あわくら}粟蔵水稻(株)

【2日目の立ち寄り先】

輪島朝市、輪島キリコ会館、大本山總持寺祖院、昼食(福寿司)、道の駅

*添付の切り絵は、梅谷 武さんがキリコ会館の展示内容を表現して作成されました。

*添付の文“1日1日を”は福寿司さんの壁に貼ってあった文ですが、何気ない

1日の大切さを改めて気付かされました。

令和4年8月16日記



キリコの祭り



輪島大祭のみこし御渡



キリコの祭り

能登はやさしや土までも

能登の人柄が心に響き
感動と味わいのある里山里海。



カモメは海にいると思われませんが
当地では田圃にいます。

1. おもい



ご多分に漏れず当奥能登地域も少子高齢化が進む過疎地域で農業ができなくなり、
だんだんと農地が荒れていきます。
農地を守りおいしい米を生産して地域と社会に貢献し食べてもらう人に喜んで貰い
たいと願っています。